



企業が表すもの

令和7年11月14日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業が有する者は勤労性と勤勉性である。それにおいて個々人が企業において評価を得ることは、正しい自己判断であるとする。

人材が企業を行い、与えるものであることは安易に理解できる。それら能力が企業を可能とするものである。

これらは企業への評価が、人材への評価であることは正しいのである。

先端性や進歩性を支えるのは人材であり、その理解の進捗性が、企業を決定するものである。

これら世界における優れた企業は、それらソフト資産を企業において共有するものであり、それらが現実を与えるものである。

これらは経営という現実における企業の創造であり、経営者に人材は集うのである。

高い知性は今日企業の進歩性そのものであり、それらが未来という現実を開拓するものである。

これらはウサギと亀や、アリとキリギリスという現実が必ずしも虚像でないことを示すのである。

これらは自己の行動と発言が企業を与え、それら高い倫理的基準や判断は、企業の現実そのものである。

リーダーの下現実が与えられることは真実である。それら基準は、個々の企業においてその経営への責任を呈するものである。

しかし他方においては、その飛躍はそれら知性や倫理的向上において可能であり、それらが新しい未来の実現を与えることも可能なのである。